

日本ASEAN友好協力50周年 有識者会議の概要

2023年2月 外務省

1 設置の経緯

- ◆ 日ASEAN特別首脳会議に向けて政府内で準備を進める上での参考とすべく、学界及び経済界の有識者から知見を得ることを目的に、木原誠二内閣官房副長官の下に設置。

2 構成員

- ◆ 学界及び経済界から以下の民間有識者（計12名）が委員として参加。外務省が事務局を務め、関係省庁がオブザーバーとして出席した。

【学界】

- ・ 大庭三枝（座長、神奈川大学教授）
- ・ 相澤伸広（九州大学准教授）
- ・ 遠藤環（埼玉大学大学院教授）
- ・ 梶原将（東京工業大学生命理工学院長・教授）
- ・ 川島真（東京大学大学院教授）
- ・ 木場紗綾（神戸市外国語大学准教授）
- ・ 佐橋亮（東京大学准教授）
- ・ 庄司智孝（防衛研究所 アジア・アフリカ研究室長）

※座長以降50音順

【経済界】

- ・ 田中秀幸（日本経済団体連合会
アジア・大洋州地域委員会
ASEAN経済連携強化部会長）
- ・ 清水新一郎（日本・東京商工会議所
ASEAN・日本経済協議会(AJBC)
日本委員会）
- ・ 平子裕志（経済同友会 アジアPT委員長）
- ・ 田中恵次（関西経済連合会 国際委員会
アジアビジネス専門委員長）

3 開催概要

- ◆ **2022年5月12日(第一回会合)**：会議立ち上げ。有識者会議委員のほか、政府より木原官房副長官、事務局として外務省、オブザーバーとして関係省庁が参加し、意見交換。
- ◆ **6月～12月(研究会)**：政治・安全保障、経済、文化・社会といった幅広いテーマについて、有識者及びゲストスピーカーによる研究会を1か月に1回程度、計8回開催。
(このほか、国際機関日本アセアンセンターの協力を得て、ASEANの有識者とも4回に亘り意見交換を実施。)
- ◆ **2023年2月3日(第二回会合・予定)**有識者会議から報告書を政府に提出。事後に公表。

I. 自由で開かれたルールに基づく公正な地域秩序の構築

ASEAN中心性・一体性を尊重したASEANのアーキテクチャーの維持・強化および活用を図り、AOIPとFOIPを連繫させることを通じ、ルールに基づく公正な地域秩序へ向けた協力を強化。

(長期的に地域内の緊張緩和へむけた取組を共に推進、ASEANアーキテクチャーの強化、ASEAN事務局の機構・機能強化支援、安全保障分野での協力を推進、等)

II. 経済発展、持続可能性、公正性のいずれもが充足した共生社会の実現

AOIPとFOIPを連繫させつつ、多岐にわたる分野における協力を相互に関連付けながら、発展と持続可能性と公正性がそれぞれ充足した社会の実現を目指す。

(自由で開放的かつ公正な経済秩序の維持・強化、経済の活性化と高度化による発展の実現、社会的発展と公正のための協力、持続可能でレジリエントな社会の実現、等)

III. 新たな日ASEANパートナーシップの基盤となる相互理解と相互信頼の醸成

経済成長と社会の成熟と多元化、市民社会の成長といったASEAN諸国の変化、またそれに伴う日ASEAN関係の変容をも踏まえた、新たな世代や社会各層を取り込んだ、多層的な人的ネットワーク構築を目指す。

(日ASEAN間の多層的な人材交流および知的交流・文化交流の促進、日本とASEANの若手高度人材間のネットワーク形成と相互対話の機会の維持・強化、等)

以上を実現するための取組

従来からの対ASEAN協力ツールや、その後継あるいは新たな仕組みを検討。またODAのみならず、官民のリソースを活用し、推進するための協力スキームやプロジェクト等の深化を図る。